

## 健 康

**問** 日本のうつ病患者数は人口の5%に当たる約60万人と推定され、年間20%ずつ増加しているようだが、うつ対策について、現状と今後の対策は。



つ対策並びに自殺予防対策を強化していきたいと考えています。

**匝瑳市特定健康診査等実施計画第2期、平成25年度から平成29年度の5年間の計画が策定されたが、特徴、従来と異なる部分、充実された部分は。**

また、従来の住民基本健診と検査項目の違いは。

実施計画の充実内容は、①受診率の向上対策として特定健診の受診状況の把握と未受診者への受診勧奨、併せて事業所健診の受診者などはその健診データを把握するように求められており、今年度から特定健診の受診機会の拡大方策として、旭市医師会の協力を得て旭市の11の協力医療機関においても受診できるようになりました。②腹囲が基準値以内の場合、健診結果で異常値が出ても特定保健指導の対象にならないが、第2期計画では新たに保健指導に取り組むよう項目が追加され、今年度は特定健診の結果表を送付の際に結果数値の見方、異常値の改善方法を記載したりフレットを同封し、情報提供を行っていきます。

また、市民への風疹ワクチン予防接種の周知はどうに行うか。

県内の発生状況は、平成25年1月から5月26日までの期間で、493例の報告があり、昨年1年間の112例を大きく上回っています。予防策としては、特效薬がないため、事前に風疹ワクチンの予防接種が効果的であり、緊急対策として

供事業として実施する予定です。

また、検査項目の違いは、基本健診で行っている特定健診で除外されたものは、総コレステロールとアルブミン、クレアチニン、尿酸ですが、医療費の第1位が腎不全であることから、腎機能検査としてクレアチニン、eGFR、尿酸を今年度から追加して実施していますので、実質的に省略されたのはアルブミンです。

また、周知方法は、広報を掲載、協力医療機関に対しポスター等を掲示依頼、夫への接種を説明しています。周知方法は、広報を掲載、協力医療機関に対しポスター等を掲示依頼、夫への接種を説明しています。

風疹ワクチン等予防接種制度を創設して、20歳から50歳未満の市民で妊娠を望む女性や妊婦の夫に予防接種料金の一部助成を実施しています。

また、鳥インフルエンザウイルスが及ぼす害毒を最小限に抑えるために必要な対策を講じる上で、行政の情報収集ネットワーク、対策方針計画はどうなっているか。

万が一の発生時に、市としては、県が主体で行う蔓延防止、早期収束対策に協力していくことになり、人への対策としては、新型インフルエンザ等対策特別措置法を受け、平成25年3月に匝瑳市新型インフルエンザ等対策本部条例を制定し、人から人への感染が懸念される高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、国や県との連携を図りながら、平成25年度中に行動計画を策定する予定です。

## 産業建設

### 行政視察③

産業建設常任委員会では、6月10日(月)の委員会終了後、吉崎浜野外活動施設、津波避難タワー建設予定地及び野手海岸の災害復旧工事を視察しました。当日は海匝土木事務所から県職員を招き、海岸災害復旧工事の内容について詳細な説明を受けました。産業建設常任委員会では、この視察で学んだことを地域環境の保全・整備に活かせるよう取り組んでいきます。



産業建設常任委員会：野手海岸の災害復旧工事を視察

### 文教福祉

### 行政視察②

文教福祉常任委員会では、6月7日(金)の委員会終了後、野栄中学校校舎を視察しました。当日は教育委員会学校教育課職員から校舎の概要説明を受けた後、施設内を見学しました。文教福祉常任委員会では、この視察で得られた状況を児童・生徒の教育に活かせるよう取り組んでいきます。



文教福祉常任委員会：野栄中学校校舎を視察

### 総務

### 行政視察①

総務常任委員会では、6月6日(木)の委員会終了後、野栄中学校校舎と津波避難タワーの建設予定地を視察しました。東日本大震災の際に特に津波被害が著しかった今泉浜地区に国の復興交付金を活用して津波避難タワー1基を設置するものです。総務常任委員会では、この視察で得られた状況を防災対策に活かせるよう取り組んでいきます。



総務常任委員会：津波避難タワーの建設予定地を視察